

CSにおける「国際都市おおたを担う人材の育成」
虹色の翼 ～羽田と共に～ 羽田の古と未来、そして世界へ



藤兵衛
プロジェクト

1 コミュニティ・スクール羽田小学校

令和5年9月からCSを導入。委員は14名。地域学校協働本部「スクールサポート HANEDA:通称はねサポ」の地域コーディネーターは3名。120年前に、羽田小学校の設立に尽力した三代目小野藤兵衛さんの志を引き継ぎ、町が心をついに子どもたちを見守り関わり合えるようにと「藤兵衛プロジェクト」を立ち上げているところである。

2 コミュニティ・スクールとしての議論や取組の概要

「国際都市おおたを担う人材」とは。

- ・旅客者数で世界第5位(コロナ禍前:2019年度実績)の国際空港である羽田空港に1番近い『羽田小学校』である。
- ・羽田のまちは、「物流の拠点」「目的地への中継地点」など、通過されてしまう場所でもある。羽田空港が近くても、自らが動かなければ国際化には繋がらない。そのため自ら外に飛び出す人材を育成する必要がある。
- ・SDGs 質の高い教育、生涯教育。人格的な土台をつくっていくのが小学校である。

羽田のまちづくりを考えられる人材

この町をどうしていくか、子供たちをどうしていくか。町会、商店街、PTA、地域のコミュニティを大切にしていく。そしてまちづくりを考えていける子供たちに、羽田の歴史や文化も含めた地域を愛する、そしてまちの将来を託せる子供たちの育成をはかる。

国際人としての人材

国際人とは自分の考えや意見を述べられる人。多様性を認め、理解して、コミュニケーションをとれる人。英語教育、国際教育にも力を入れて羽田中学校との連携も図る。

羽田の未来と羽田空港

新設教科「おおたの未来づくり」も踏まえて、羽田空港との連携をはかる。日本、世界、未来への学びを段階的に積み上げる。さまざまな活動に参加して、空港との関係を築く。

3 コミュニティ・スクールとしての議論や取組の成果と今後の課題

●取組の成果

3年生:総合的な学習の時間:「未来の空港」羽田空港がこうなったらいいな

・先端と文化が融合する羽田イノベーションシティのグオープンイベント「HANEDA EXPO」への参加。

【ねらい】

「未来の空港」をキーワードに、自由な発想と先端技術への興味・関心を高める。空港は飛行機の発着のみならず、多様な人々や環境に配慮している楽しい場所であることを学びつつ、夢と希望をもって個人・グループで考えて絵や文章で表現する。

【授業の成果】

リアルとバーチャル(CG、メタバース等)に発想が広がった。



カラフル羽田空港

世界中の人に会ってみたい、いろいろな国に行ってみみたい、パイロット体験、翼を付けて空を飛んでみたいな。



おまつりいっぱい
羽田空港

羽田の祭りをいつでも、楽しんでもらいたいな。だから、おみこし、お店が空港にいつでもあったらいいね。

4年生：羽田の祭り～纏(まとい)職人から話を聞き、マイ纏をつくろう～

・開校120周年記念式典で、アトラクションとして地域の神輿や纏を活用したことを受け、自分たちで主体的に羽田の伝統である祭りにかかわる。

【ねらい】

4年ぶりに行われた「羽田の祭り」は、先人の誇りである。4年生全員がかかわることにより、祭りへの興味・関心を高める。羽田神社の神事担当をしている羽小卒業生でもある纏職人をゲストに、纏の歴史、纏の作り方等を教わり、夢と希望をもって個人・グループで考えてマイ纏を作成する。SDGsを意識し、リサイクル素材を使う。

【授業の成果】

卒業生でもある方に来ていただいたので、旧校舎の話や子どものころの話、纏にかける思いなどを聞くことができ、自分たちの纏の形や文字などに思いを込めてつくることができた。

●今後の課題・展望

- ①学校運営協議会で話し合った「羽田のまちづくりを考えられる人材」「国際人としての人材」「羽田の未来と羽田空港」について、地域で学び、地域を学び、地域から飛び出せる人材育成をめざし、まちぐるみでどのように取り組んでいくかをCSで協議していくこと。「藤兵衛プロジェクト」を進めていくこと。
- ②体験できること、できる場所、人とももの確保。
- ③地域とのつながりを学ぶ「羽田の祭学習」「羽田の郷土学習」。地域の歴史や伝統を知ることから、地域への提案へ。地域への愛着と誇り。そして、地域に貢献できる人材へ。
- ④地域防災 誰も取り残さない地域へ。災害時に地域の担い手に。
- ⑤企業や大学と連携したSTEAM教育の推進。楽しみながらの探究活動。「おおたの未来づくり」の提案・創造。単元開発と実践。

例 (3年)地域安全マップをデジタル音声案内板に。地域防災の視点を加える。

(4年)羽田空港から日本の各地の空港に飛行機で行く、「Good Luck スクラッチゲーム」
空港のバリアフリー、まちのバリアフリー、心のバリアフリー。まちのユニバーサルデザイン。

(5年)羽田空港で働く人、空港の仕事をデジタル音声案内板づくり。キャリア教育。

(6年)羽田空港のCMづくり、デジタルポスター。多言語の音声・キャプション(中華学校との連携)。英語での空港案内、空港を楽しむ提案。

